

寄稿

# 建設から75年たつ特攻基地(上)

南房総 八木 直樹

毎年2、3回の草刈と作業を行ってきましたが、この炎天と猛暑きた、わが家の近所にある旧海軍特攻基地を誘うのはためらわ

わが家の農作業の遅れ、妻と2人で作業を

遅れ、15日を前によやく草刈りをしました。7月の雨量が多かつたせいか、例年よりもセイタカアワダチソウやイタドリなどの草が

もにしてきた仲間たち長くてはかどらず、1

日では終わりません。とは大事だと思えます。それでも、草むらに埋もれていた特攻機「桜花」の滑走路を、

お盆が過ぎてから、残りの作業を終えようと思えます。最近ではネット情報が

さまざまに飛び交って、この海軍の特攻基地から「桜花」が飛び立つ

つことなく、日本の敗戦を迎えたわけですが、「桜花」特攻のた



投稿者が草刈りをした特攻兵器「桜花」の発射基地跡＝南房総

寄稿

# 建設から75年たつ特攻基地(下)

南房総 八木 直樹

私はここをはじめ、み解いた「歴史」、戦争中につくられた地元の地下壕(ごう)や砲台跡などの戦争遺跡の整備や調査を

者の方々からの聞き取りをしたりしてきまし

てきたことは、戦争の状況下で戦死、あるい

の人たちの心中を想像することなく、ただ「歴史」としての戦争を批判し、死者の数だけで戦争を知った気にな

逆、兵隊さんとしては、靖国神社が戦死することを名譽だと感ぜない場合

にその展示が戦争の真実を覆い隠したものだ

と感じました。

しかし、だからと

義的な思想の押し付け

あつてはならないと

住、農業)